『一小いじめ対策アクションプラン』~いじめゼロを目指す総合的施策~

きめ細やかな児童指導 ~いじめを許さない、居がいのある学級づくり~

- ▶外遊びの奨励
- ・週1回の昼休みクラス全員外遊び(含担任)
- ・遊びの中で子どもたちの変化に気付く努力を
- ▶全クラスで実施した Q-U 検査の有効的活用
- ・分析を職員研修で実施し方策について検討
- ▶健康観察の徹底・報告
- ・養護教諭が欠席理由を詳しく把握
- ・担任は欠席者に対して、電話等にて状況確認
- ▶教育相談旬間・「心のアンケート」
- ▶個別指導計画の作成
- ▶生活目標と一日の生活の徹底
- ・靴箱、机、イス等の整理整頓の徹底
- ・給食、清掃は師弟同行・率先垂範で
- ▶帰属意識の高い学級づくり
- ・一人一人を大切にした掲示物等の環境整備
- ▶自己有用感を高める指導
- ▶実態に応じた日記指導

分かる授業・魅力ある授業 ~教育活動の充実によるいじめの未然防止~

- ▶分かったと実感できる授業づくりとそれを 支える学業指導
- ・自信をもたせる授業
- ・友だち同士の関わり合いを大切にした対話の ある授業の展開
- ▶道徳の授業の充実(強化内容項目の設定)
- ・いじめに関する内容項目の授業の充実と「心 を育てる学校教育の日」の道徳授業
- ・児童の実態に応じた指導案作成
- ・ 懇談会で保護者に話題や状況提供
- ▶自己実現が実感できる学校行事の実施
- ▶ハッピータイム(縦割り活動)
- ▶あいさつ運動
- ▶小中一貫教育における交流活動

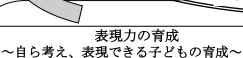


いじめゼロ、欠席ゼロのすみよい一小

- (よ)く働く子ども
- €○つも明るく元気な子ども

【学校教育目標】

子どもたちをしっかり見つめ、 -人一人と深くかかわります



- ▶自ら考えられる子どもの育成
- ・人権感覚を持った子の育成 (いじめに対して敏感な感覚を持たせる)
- ▶考えを表現できる子どもの育成
- ・いじめの3層構造の観衆及び傍観者をいじめ はよくないと表現できる(またはそういう雰 囲気を出せる) よう育てる
- ▶話し方・聞<u>き方のルールづくり</u>
- ・安心して話せる雰囲気づくり
- ▶小さな親切運動(委員会活動主体)
- ・親切の木
- ・自他のよさを素直に認められる

危機管理体制と諸機関との連携 ~いつどこの学級でも起こりうるという認識で~

- ▶危機管理マニュアルの熟知
- 早期発見、早期対応を
- 教職員間の迅速な報告・連絡・相談・確認等
- ▶いじめに対する教職員の意識高揚
- ・県教委からのいじめ問題におけるチェックポ イントを活用。定期的に確認し、教職員の意 識高揚を図る。子どもを見る目。
- ▶意図的・計画的に共通理解の場を設定
- ・打合わせ時に児童指導に関する情報共有について設定
- ・職員会議の最後に児童指導について項立て
- ▶いじめに対する学校の姿勢の開示 (児童及び保護者、地域)
- ▶児童指導対策委員会と児童指導対策会議
- ▶関係諸機関との連携
- ・青少年相談室や市教委との連携
- ・防犯ボランティア等からの情報提供
- ▶保護者との連携
- 信頼関係の構築・情報提供及び啓発

特に重点としたい取り組み